

編集後記

＜特集：新鉄源・石炭＞

*当社は還元鉄・石炭分野で古くから積極的に取り組んできました。

*1978年にMIDREX®法による直接還元製鉄プラントをカタール製鉄所に納入して以来、本分野では多くの実績をあげ、全世界の還元鉄生産量の60%のシェアを占めています。この間、MIDREX社と共に多くの開発を進め、現在では電気炉・圧延設備と組合せ、高温の状態還元鉄を電気炉へ供給することによってエネルギーの少ない一貫製鉄所を実現しており、還元鉄を180万トン生産する小型高炉並みの規模を持っています。近年、ますます需要の高まるアジア・中近東を中心として鉄鋼産業の発展に大きく貢献しています。

*この還元鉄を製造するための原料となるペレットプラントが、イランおよびバーレーンで運転が開始されています。また、オマーンやマレーシアでの建設が進み、KOBELCO-PELLETIZINGプラントは、世界の鉄鉱石物流基地に組み込まれたペレット生産拠点としての機能を果たすこととなります。

*石炭ベースの還元鉄プロセスには、製鉄所ダストを処理して亜鉛を回収する

FASTMET®プロセスがあり、また、新しい製鉄法として開発に取り組んできたITmk3®プロセスは、商業プラントが2010年1月よりいよいよ米国での運転が開始されました。コークスや焼結、ペレットを必要とせず、安価な粉鉱と一般炭を利用することができ、高炉銑鉄並みの高品質な鉄源が得られる新しい製鉄法として、今後の世界中での広がりを大きく期待しています。

*また、当社は古くから石炭関連技術の開発を重ねてきており、低品位の褐炭を瀝青炭並みに向上させる改質褐炭製造技術をはじめ、特徴あるプロセスの実現を果たしてきました。インドネシアにおいてその大規模実証プラントが稼動しております。

*本特集号では、資源の有効活用やCO₂削減をはじめとする環境問題、さらにアジア・中近東をはじめとする各国の工業化の著しい進展に、最も密着した技術分野である新鉄源と石炭エネルギー分野での当社の最先端の技術の取組みを紹介しました。当社のグローバルに展開するオンリーワン技術についてご理解いただければ幸いです。

(神保 淳)

次号予告

＜特集：素形材＞

*鍛造・鋳造・粉末冶金などの技術により、最終形状に近い素材を製造する素形材の分野で、当社は創業以来100年を超える歴史を持つ鋳鍛鋼、業界のパイオニア的存在であるチタン・鉄粉・アルミニウム鋳鍛製品を有し、それぞれの業界をリードする総合的素形材メーカーです。

*素形材は特定のお客様向けに材質や形状を設計することが基本です。お客様個々のご要求を十分に満足できる品質の製品をご提供することが可能です。例えば、各種機械の軽量化や省エネルギー・省資源化のために、高強度材料や軽量材料を適用すること、およびお客様での工程省略のために一部を鍛造形状のままにご使用いただくことを前提とした設計などがその特性を生かした実例として挙げることができ、実際に近年これらの適用例が増加しています。また、素形材は、機械部品として使用される形状に近い寸

法に製造することができるため、原料から最終製品までの歩留りが高い省資源型の素材であるともいえます。

*当社が様々な業界に提供している素形材の代表的製品としては、船用ディーゼル機関用クランク軸などの大形鋳鍛鋼品、航空機・化学・電力・船舶などの分野に向けたチタン合金および純チタンの鍛造品・圧延品、自動車産業および航空機産業向けアルミニウム鋳鍛製品などがあり、その他にも粉末鍛造品や粉末焼結品に使用される鉄粉も自動車産業を中心に提供しております。

*次号では、素形材特集号として、当社が生産するこれらの最新の素形材製品の特性や、素形材製品の製造に適用された最新の技術についてご紹介させていただきますので、関係分野の皆様にお役に立てていただければ幸いです。

(森川裕文)

＜編集委員＞

委員長	関 勇 一
副委員長	中 川 知 和
委員	井 上 憲 一
	大 井 敬 一
	鹿 嶋 正 人
	清 水 弘 之
	神 保 淳
	西 川 恒 明
	橋 村 徹
	前 田 恭 志
	森 川 裕 文
	吉 村 省 二
	<五十音順>
本号特集編集委員	神 保 淳

R&D /神戸製鋼技報

第60巻・第1号(通巻第224号)

2010年4月1日発行

年2回(4,8の各月)発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 関 勇一

発行所 株式会社 神戸製鋼所
秘書広報部
〒651-8585
神戸市中央区脇浜町2丁目10-26
(神鋼ビル)

印刷所 福田印刷工業株式会社
〒658-0026
神戸市東灘区魚崎西町4丁目
6番3号

お問合 神鋼リサーチ株式会社
わせ先 R&D 神戸製鋼技報事務局
〒651-2271
神戸市西区高塚台1丁目5-5
(株)神戸製鋼所内
FAX(078)992-5588
rd-office@kobelco.com

2010年4月1日

各 位

(株)神戸製鋼所
秘書広報部

「R & D 神戸製鋼技報 Vol.60, No.1」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D 神戸製鋼技報 Vol.60, No.1」を発行致しましたので、ご参考になれば幸いと存じお届け致します。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下記変更届けに必要な事項をご記入のうえ、FAXにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

神鋼リサーチ株式会社
R&D神戸製鋼技報事務局 行
FAX 078-992-5588
rd-office@kobelco.com

変 更 届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	TEL：

本誌は KOBELCO ホームページに全文を掲載しています

<http://www.kobelco.co.jp/>